

地域のお便り



浜松市長の市政報告会ルポ!



去る6月16日、私の地元地域の公会堂に鈴木康友市長がお越し下さり、市政報告会が開催。大きな会場と違って距離感も近く、質疑応答も含め双方向型の報告会となりました。

限られた時間で市長が力説したのは、行財政改革の取組と防災対策、産業政策。特に、大合併をした平成17年以来、浜松市が抱えている課題(過疎、膨大なインフラ管理など)と向き合いながら行政運営していくためには、借金の抑制はもちろんのこと、資産経営への取組を強化する必要があると強く訴えました。また、本格施工が始まった遠州灘沿岸の防潮堤建設の今後の見通しについてや、浜松のアイデンティティである産業を支えていくための支援策についても分かりやすく解説。

今後も、積極的に浜松市政の動向をつかみながら、県政での議会活動に生かしていきたいと思います。

ジェトロ浜松貿易情報センターがオープン!

貿易・投資促進と開発途上国研究を通じて、日本経済・社会の発展に貢献しているジェトロが、4月1日、国内38カ所となる貿易情報センターを浜松市内に開設されました。ここでは、県西部地域の8市町(浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町)を所管し、産業分野別の支援計画を検討した上で、各種情報提供、商談機会の提供、個別企業支援等の事業を行っていくとのこと。

ただ、海外ビジネス・海外投資となると、国内産業の空洞化が懸念されがちですが、国内還流システムを構築すれば、長期的には国内雇用は増えていくと、この日講演された伊丹敬之東京理科大学教授も力強く後押し。そのためにも、55カ国に73カ所もあるジェトロの海外事務所ネットワークをフル活用し、海外ビジネスの成功事例を一つ一つ積み上げて頂くことを期待します。



第6号の発行にあたり

浜松まつりも終わり、また暑いシーズンがやってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

さて、去る6月16日をもって、県議会議員になり丸1年が経過致しました。この間、市議時代同様、ご指導ご支援下さった皆さまに深く感謝申し上げます。至らぬ点もあったかと思いますが、所属委員会や本会議での質問、さらには会派活動を通じて、この「山崎しんのすけ通信」のサブタイトルである「浜松市と静岡県を結ぶ」働きが、多少なりともできたと考えています。

今後は、個人として更なる精進を積むのももちろんのこと、東京都議会や兵庫県議会の情けない姿を反面教師にし、会派としても議会としても、皆さまに信頼頂けるよう努めてまいりたいと思います。



山崎真之輔プロフィール

- ◆ 32歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(1期目)
- ◆ 所属会派:ふじのくに県議団
- ◆ 所属委員会:文化観光委員会(副委員長)

しんのすけ活動記録

2月21日～3月19日	県議会2月定例会
3月7日	浜松特別支援学校 卒業式
3月10日～13日	文教警察委員会
3月17日	県政報告会「早春のつどい」
3月18日	浜松市立東部中学校 卒業式
3月21日～6月15日	浜名湖花博2014
3月22日	東部協働センター完成記念式典
4月 4日	静岡文化芸術大学 入学式
4月 5日	浜松修学舎 入学式
4月 7日	浜松市立相生小学校 入学式
4月 7日	ジェトロ浜松貿易情報センター 開所式
4月8日～16日	会派街頭県政報告会
4月20日	浜松地区マーテー
4月21日～27日	中国事情調査(杭州、大連、上海)
5月 3日～5日	浜松まつり
5月15日	県議会5月臨時会
5月20日	三方原学園 創立記念式典
5月22日～24日	原発・総合エネルギー議連視察(茨城、千葉)
6月 4日	富士山静岡空港開港5周年記念式典
6月12日	浜松篠原海岸津波対策施設等整備事業 安全祈願祭
6月13日	北川正恭氏 マニフェスト講演会

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第6号 通信

平成26年7月発行

本気が
違う!!

山崎しんのすけ事務所 | 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

富士山静岡空港開港5周年!

去る6月4日、開港5周年を迎えた富士山静岡空港のセレモニーに出席しました。開港前後に様々な糾余曲折がありましたが、航空会社や旅行関係団体、地元の方や利用者の支えによって、何とか5年が経過。ただ、目標としている70万人というお客様の数に到達するには、まだまだ多くの改善と努力が必要ですし、毎年5億円もの税金を投入している現状は、早期に脱しなければなりません。(空港の現状と今後については、前号に詳しく記載しています。)

静岡県内には、道路や鉄道といった陸のネットワークが充実しているため、確かに空港の置かれている立場は厳しいものがありますが、一方で今後の観光需要やグローバルな展開を考えた時に、潜在能力は多分にあると思います。

これからの夏の観光シーズン。是非、富士山静岡空港をお使い頂ければ幸いです。



会派マニフェスト作成中



「地方議会って、何をやってるんだろう?」「本当に必要なんだろうか?」
益々進む地方分権時代とは裏腹に、このような議会不要論は残念ながら根強く存在しています。その最たる原因是、議会の発信力の弱さや行政当局との馴れ合いですが、こうした事態を打開しようと、我が会派「ふじのくに県議団」が今取り組んでいるのが、会派マニフェストの作成です。

勉強会の初回には、日本政治界におけるマニフェストの生みの親、北川正恭氏にもお越し頂きました。マニフェストを通じて議会の存在意義を高め、民主政治を醸成させる。そのためにも、全国の先進事例を研究しながら自分達らしいマニフェストを作成していきたいと思います。

完成時期は秋から冬にかけての予定。ぜひ、ご注ください!



いつまでも 富士山を世界遺産に

富士山が世界遺産に登録されてから、この6月22日でちょうど一年が経過しました。この間、テレビや新聞でも報道されているように、経済波及効果など多くの恩恵があった反面、世界遺産委員会から勧告・要請されている適切な保存管理に向けた取組も、2016年2月の保全状況報告書の提出に向けて、いよいよ急がなければならぬ時期に来ています。

そこで今後は、国・静岡・山梨両県、市町村から成る「富士山世界文化遺産協議会」が中心となり、以下のような事業を展開していくことになります。

**全体構想
各種戦略の策定等**

5,310万円

- ・包括的保存管理計画の見直し
- ・巡礼路の描出、登山者動向、構成資産来訪者意識調査
- ・登録記念銘の設置 ほか

**利用者負担の本格導入
「富士山保全協力金」**

4,400万円

- ・期間：登山道開通期間（7月10日～9月10日）
- ・金額：基本1000円

**登山者の安全対策、
顕著な普遍的価値の
情報提供 ほか**

2,800万円

- ・誘導指導員等の配置
- ・外国人の遭難
- ・道迷い防止
- ・講座の開催、富士山憲章の周知 ほか

ご覧のように、富士山に関する事業だけでも多額の支出が予定されています。ただ、昨年試行した「富士山保全協力金」は約1500万円ほど集まりましたし、本格導入となる今年は7900万円を見込んでいます。誰もが当事者となり、国民運動として「富士山をいつまでも世界遺産に」できるよう取組を加速させていきたいですね。

ちなみに、私も今夏、4年振り3度目の富士登山に挑戦するつもりです！

ご利用ください！サイボスレーダー

静岡県が運営する地域密着型防災サイトの「サイボスレーダー」をご存知ですか？

ここ数年、局地的な集中豪雨などで不安に駆られた経験をお持ちの方も多いかと思います。そんな時に頼りになる情報源が、このサイボスレーダー！ピンポイント天気予報をはじめ、台風や地震の防災情報、ライブカメラ映像、雨量・水位情報などをリアルタイムで提供しています。

浜松市でも防災ホットメールという情報配信サービスを行っていますが、サイボスレーダーは、地図上の色が変わったり、実際の映像をライブカメラで確認できるため、こうした媒体を組み合わせて頂くと効果的だと思います。

夏から秋にかけての観光・行楽シーズン。旅のお供にサイボスレーダーはいかがですか？



パソコンからのアクセス▶ <http://sipos.shizuoka2.jp/> サイボスレーダー 検索

静岡産業を復活させよう！

2008年のリーマンショック、さらには3年前の東日本大震災以降、静岡県の基幹産業であった製造業を中心に県内経済は長く低迷を続けていました。しかし今年に入り、有効求人倍率が1.00台に回復とともに、完全失業率も2.8%（完全失業者数は5.6万人）に改善する等、久しぶりに本県経済に明るい兆しが見えています。

こうした中、行うべき産業政策は大きく二つあると考えます。一つは、回復したといっても、ピーク時の製造品出荷額には到底及んでいない現状を踏まえた上で、既存の雇用吸収力のある製造業に対する適切な支援。もう一つは、光・電子・環境・農業といった次世代産業の創出支援です。

特に後者については、本年度から官民が連携して成長戦略を検討する「静岡県産業成長戦略会議」が動き出しています。この会議の強みとしては、経済の血液とも言われるお金を扱う金融界がメンバーとして名を連ねていることです。今後、短期的テーマと中長期テーマを協議し、今年の秋頃には成長戦略が取りまとめられる予定となっています。

静岡県産業の復活のために、実効性ある戦略を練り上げていく必要があります。



真の目～女性の力はすごい！～

現政権が進めている成長戦略の中に、「女性が輝く日本」が掲げられています。これは、待機児童の解消や職場復帰・再就職の支援、女性役員・管理職の増加といった政策を通じて、日本経済を活性化させようというもの。まだ誤解があるようですが、他の先進国では、女性の就労率が高い国では出生率も高いという関係が見られていますし、家計所得が増えれば消費拡大にも繋がります。ぜひ、着実な施策実行を期待したいですね！

他方で、静岡県においても女性の力を活用しようと取組みを加速させています。一例として、静岡県警察内に「女性チャレンジ支援推進係」が新たに設置され、性犯罪の捜査や被害者支援の強化等を進めていますし、空港の利用促進に女性の視点を生かそうと、10人からなる女性チームを立ち上げました。また、災害時における女性特有の事情に応えるために、消防や防災分野での登用も増えてきています。

老若男女、誰もが社会に貢献でき、活躍できる社会を作りたいですね！！

